

令和4年9月22日

各 位

一般社団法人 全国信用組合中央協会
全国信用協同組合連合会

第2回「しんくみブランド表彰」受賞先の決定について

信用組合業界の表彰制度「しんくみブランド表彰」の受賞先がこのほど決定いたしましたので、お知らせします。

今回の表彰では、全国の信用組合、協会及び信用組合役職員が取り組んだ多岐にわたる活動のなかから、大賞1先、優秀賞5先の活動が決定いたしました。

第2回「しんくみブランド表彰」受賞先

○大賞

信用組合部門	君津信用組合（千葉県）	電子地域通貨「アクアコイン」を通じた地域活性化
--------	-------------	-------------------------

○優秀賞

信用組合部門	茨城県信用組合（茨城県）	商店街体験型金融教育『キッズ未来プロジェクトきずな』への協力
信用組合部門	糸魚川信用組合（新潟県）	地元消費促進による地域の活性化
信用組合部門	岡山県信用組合協会（岡山県）	つながる、輝く。「しんくみビジネスマッチング」
役職員部門	第一勧業信用組合（東京都） 藤岡 英樹 氏 畠山 芳明 氏 杉山 由美子 氏	オリジナルご当地ソング（篠崎望郷音頭）の制作
役職員部門	広島県信用組合（広島県） 山田 桃花 氏 渡辺 麻依 氏 西谷 祥 氏	「三原だるま」の技術の伝承と、若い世代への広報活動

信用組合は、営利を目的とせず、相互扶助（共助の精神）のもとに活動する金融機関です。地域経済の活性化や社会・コミュニティの課題解決に向けた取組み、各種の社会貢献活動等、相互扶助を具現化した活動に日々取り組んでおります。

「しんくみブランド表彰」は、これら信用組合業界の諸活動を多くの方に知っていただき、信用組合の基本理念である相互扶助と存在意義をより一層訴求することを目的に、昨年度より実施しているものです。

【本件に関する問い合わせ先】	
一般社団法人 全国信用組合中央協会 ブランドコミュニケーション部 TEL : 03-3567-2452 (平日 : 9 : 00 ~ 17 : 00)	全国信用協同組合連合会 総合企画部 TEL : 03-3562-5115 (平日 : 9 : 00 ~ 17 : 00)

【大賞】

君津信用組合（千葉県） 電子地域通貨「アクアコイン」を通じた地域活性化

君津信用組合は、2018年2月に本店が所在する千葉県木更津市および木更津商工会議所との三者連携により電子地域通貨「アクアコイン」を開発した。同年10月には、スマートフォン専用アプリを利用したQRコードによる代金決済サービスの本格運用を開始し、商店街などの消費活動を高め、地域内の資金循環を促進するとともに、観光客にも「アクアコイン」を使用してもらい地域外からの消費を呼び込むなど、当市内の経済活性化に取り組んでいる。

さらに、行政と市民との繋がり新たな取り組みとして、自治体マイナポイント事業への参加やマイナンバー新規申請者ポイント事業を実施したほか、「アクアコイン」による市税の納付など、当組合と地域・行政が一体となった取り組みにより、2022年3月末時点において、加盟店750店舗、利用件数約22万件、利用額8億8,172万円と順調に進展している。

「アクアコイン」は、開発当初から金融機関・自治体・商工会議所が連携した初の電子地域通貨として、地域経済・コミュニティの活性化に大きく貢献している。

【優秀賞】

茨城県信用組合（茨城県） 商店街体験型金融教育『キッズ未来プロジェクト きずな』への協力

茨城県信用組合が協力している大洗町「曲がり松商店街」主催の商店街体験型金融教育『キッズ未来プロジェクトきずな』は、地元の小学校の児童が商店街で商売の流れを体験することで、商店街とのつながりを深め、商売の面白さを知ってもらう取組として、2011年より実施している。

茨城県信用組合は、子供たちが商店街に出店するために作成した事業計画の説明を受けて、事前に商店街からお預かりした資金を商売の元手として提供する役割を担っている。

子供たちは、調達した資金を元手に商店街から商品を仕入れ、商店街を訪れた地域の方々に商品を販売し、売上金の中から調達した資金を同支店に返済する。そこで得た利益については後日、町に寄付する予定で、地域の活性化に貢献する活動となっている。

茨城県の港町である大洗町は、東日本大震災により甚大な被害を受けたことから、商店街の活気を取り戻すとともに、未来を担う児童に商売の魅力や難しさを知ってもらうことを目的に、震災の翌年から開始された活動で、今年で継続10年となる。

【優秀賞】

糸魚川信用組合（新潟県）

地元消費促進による地域の活性化

糸魚川信用組合では、2011年から「地元で得た所得は地元で使う」を合言葉に、産官民一体となって地元消費促進の啓蒙活動に取り組んでおり、コロナ禍においては困窮する市内の飲食店などへの支援策として、売り上げが確保できるよう、営業店を通じて飲食店にテイクアウトやデリバリーの提案を行ってきた。

この提案に応えた飲食店を応援するため、当組合の公式ホームページ内に「がんばれ糸魚川のお店」コーナーを制作し、無料で掲載するとともに、ホームページに掲載した店舗の周知を図るため、店舗一覧チラシを作成して、4回にわたり新聞折込を行うなど、積極的に宣伝活動を行ってきた。

さらに、2019年より地元消費の喚起策として、割引特典提供店を収録した「糸魚川得本」を発行し、2021年には特典を拡充させた第3弾として掲載店で使える1,000円分の「さら得商品券」を添付した。

コロナ禍における飲食店等に対する事業者支援の取り組みは、業界内外で多数の事例があるが、行政や地域を巻き込み、取引先を含めて地域全体の活性化に向けた取り組みは、地域金融機関として模範性が高い。

【優秀賞】

岡山県信用組合協会（岡山県） つながる、輝く。「しんくみビジネスマッチング」

岡山県信用組合協会では、顧客との絆を生かした取引先支援策の一つとして、「つながる、輝く。」をコンセプトに2015年より、しんくみビジネスマッチング展を開催し、取引先事業者に対し、新たなビジネスチャンスの創出やビジネスパートナーとの出会いの場として活用いただくことで事業や地域の発展、振興につなげている。

この活動は、岡山県内に留まらず、近隣の広島県、香川県、高知県、遠方では秋田県の信用組合からの協力を得て、広い商圏でより多くの業種の事業者との出会いの場を提供することができ、多くの商談とその成果をあげている。

また、会場には、日頃抱えている企業の悩みを解決する相談ブースを設け、大学や公的機関、士業が出展している。大学では産学連携による商品の共同研究等の相談、公的機関では振興財団、雇用センター、よろず支援、士業においては税理士・社労士・司法書士・特許事務所等が参加し、出展企業が抱えている課題を気軽に相談できる場を提供するなど、ビジネスマッチングの枠を超えた取り組みを行っている。

【優秀賞】

第一勸業信用組合（東京都）

藤岡 英樹 氏

畠山 芳明 氏

杉山 由美子 氏

オリジナルご当地ソング（篠崎望郷音頭）の制作

第一勸業信用組合篠崎支店がある篠崎町の町会は、盆踊りをはじめとした年間の行事に熱心に取り組んでおり、当支店も神輿担ぎや出店の手伝い、店舗の提供など、行事に積極的に加わり地域を盛り上げている。

しかしながら、2020年のコロナ禍により、地域のお祭りや盆踊りが中止となるなか、一日も早く「地域の人々の交流を取り戻して、活気を呼び戻したい」との思いから、「コロナ収束後の盆踊りで使えるオリジナルご当地ソング」の制作を支店長ほか有志で発案し、町会役員会に提案を行い実現した。

オリジナルご当地ソングの制作にあたっては、当組合職員3名それぞれが作詞・作曲・歌を担当し、振付は踊りの先生でもある老人会の会長が担当するなど、町会の方々と協力して「篠崎望郷音頭」が完成した。

また、完成した「篠崎望郷音頭」は、DVDにして町会に配布し、高齢者施設などでも活用されるなど、「篠崎望郷音頭」をきっかけとした地域の輪が広がっており、「地域と信用組合が一体となった取組」となっている。

【優秀賞】

広島県信用組合（広島県）

山田 桃花 氏

渡辺 麻依 氏

西谷 祥 氏

「三原だるま」の技術の伝承と、若い世代への
広報活動

広島県信用組合三原支店の若手職員3名は、江戸時代から続く伝統工芸、「三原だるま」の作り手が高齢化しており、また後継者もないことを知って、地域の伝統を後世に繋ぎたいとの思いから、縁あって保存育成会代表に弟子入りすることとなった。

また、若い世代を対象に積極的に「三原だるま作り」を広めていくことを目的に、2021年12月1日には、「三原だるま保存会 青年部」を結成した。

青年部の活動としては、主に地元の小学校に積極的に向かい、「出張だるま作り教室」を開き、だるま作りを一から体験してもらうなど、小さいうちから地元の伝統工芸に触れ、郷土愛を育んでもらうことを目的に活動している。

若い世代に対して広報活動を通じて郷土愛を醸成する取り組みは、人口が減少する三原市において地域課題の解決にも繋がる活動となっている。

以 上

< 参考 > 第2回「しんくみブランド表彰」について

1. 目的

信用組合、協会（地区協会及び都道府県協会）および信用組合役職員が取り組んだ社会貢献活動、しんくみの日週間活動ならびに信用組合の本業に付随した地域経済の活性化に向けた取組み等、信用組合の基本理念である相互扶助（共助の精神）を具現化した活動のうち、趣旨や成果につき優秀なものを表彰する。

これにより、信用組合業界の諸活動を内外に認知させるとともに、ブランドイメージの向上を図る。

2. 表彰対象

- (1) 信用組合部門 信用組合、協会（地区協会及び都道府県協会）
※信用組合の営業部店単位での活動も含む。
- (2) 役職員部門 信用組合役職員
※信用組合内サークル・グループ、部署単位の活動も含む。

3. 選考方法

しんくみブランド表彰選考会にて厳正に選考のうえ、表彰先候補を選定し、全信中協理事会で表彰先を決定する。

4. 選考のポイント

以下の項目を総合的に判断する。なお、活動の内容がすべての項目に該当しなくとも、特定の項目において顕著な取組みが認められる場合、評価の対象とする。

- ①継続性、②革新性、③課題解決性、④コミュニティとの一体性、⑤話題性、⑥模範性

5. しんくみブランド表彰選考会 委員

- 見城 美枝子 青森大学 名誉教授
- 佐藤 雄二郎 株式会社共同通信社 顧問
- 高橋 陽子 公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長
- 中村 健 株式会社全国信用組合新聞社 顧問
- 三村 一夫 一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会 常務理事
- 内藤 純一 全国信用組合中央協会 理事長、全国信用協同組合連合会 理事長
- 鈴木 均 全国信用協同組合連合会 専務理事
- 吉澤 守 全国信用組合中央協会 専務理事
- 丸藤 保彦 全国信用組合中央協会 常務理事

※所属は令和4年9月現在、敬称略、上5名の外部委員は五十音順